

令和 2 年 8 月 7 日

取手市議会議長 齋藤 久代 様

提出者 取手市議会議員 遠山智恵子
// // 加増 充子

議案第 49 号 令和2年度取手市一般会計補正予算(第5号)に関する組み替え動議

議案第 49 号 令和2年度取手市一般会計補正予算(第5号)については、下記の通り組み替えを行い、再提出するよう動議を提出します。

記

(提案理由)

新型コロナウイルスの感染急拡大は、憂慮すべき事態となっています。医療のひっ迫、さらには医療崩壊を引き起こせば救える命が失われかねません。現在の感染急拡大を抑止するには、PCR等検査の抜本的拡大、陽性者の隔離・保護する体制を整えることなど、検査とともに十分な医療の体制を確保することを一体として進めることが緊急に求められています。

分散登校による学校現場の新たな経験により、改めて少人数クラスの良さが確認された。と多くの先生方が語っています。合わせて「コロナ禍」の下で「新しい生活様式」が要請され、3密を避け、学ぶ環境の確保が教育行政の責任で整備することが求められています。3密を避ける授業の保障は、クラス人数を25人程度の規模にすること。そのための必要条件は、先生の確保であり、教室の確保です。

取手市の第2次コロナ対策で優先されなければならないのは、いのちを守るための検査と医療体制の拡充を要請すること。「コロナ禍」で子どもの安全を守り、安心して学べる学校環境の整備を行うことであり、暮らしと営業の回復を図ることでもあります。

以上のことから、不急の「GIGAスクール構想」及び事業費の割に経済効果が見込めない「プレミアム付商品券」に関する2つの事業を中止し、その事業に含まれる臨時交付金を、暮らしと営業、子どもの安全な学びの場を保障する予算への組み替えを求めるものです。

一般会計補正予算	(単位:千円)
(1) 歳出の減額	
ア 国は掲げる「GIGA スクール環境整備事業」に対応し、児童生徒1人1台端末の整備、校内ネットワーク環境の整備等を行うもの	920,759
イ プレミアム付商品券事業	1,155,891

※ア及びイの2事業費の内、臨時交付金 合計 628,775千円を(2)の事業に充当

(2) 歳出の増額

ア 全小中学校の少人数クラス(30人以下)へ臨時教員の加配

現在の市内小中学校の状況から、23クラスが30人を超えており対象となることから、
月額26万円報酬、9～3月の7か月分として 41,800

イ 小中学校の用務員増員

小学校の用務員報酬 4,994×2倍として 9,988

中学校の用務員報酬 1,334×2倍として 2,668

ウ 小規模事業所支援金(法人・個人) 1事業所20万円、2,000件 400,000

エ 医療機関・福祉事業所(法人・個人)1事業所30万円、200件 60,000

オ 全小中学校施設の水道蛇口の改善 10,000

カ 防災ラジオ普及拡大事業の増額 660台 13,068

以上